

MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社

2026年3月期第3四半期 決算説明会資料

発表日:2026年1月30日

出席者

専務取締役 上席執行役員

角 芳尋

執行役員 コーポレートコミュニケーション室長

須田 庸夫

目次

2026年3月期第3四半期 全社実績

1. 2026年3月期第3四半期 全社実績
2. 2022～26年3月期第3四半期 全社実績推移
3. 四半期別売上高推移
4. 営業利益の増減要因
5. その他の財務情報
6. 経済指標

2026年3月期第3四半期 セグメント実績

7. 2026年3月期第3四半期 セグメント実績
8. 四半期別セグメント実績推移
9. インダストリアル機器部門 2026年3月期第3四半期実績
10. インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移
11. オフィス機器部門 2026年3月期第3四半期実績
12. オフィス機器部門 四半期別売上高推移
13. HCR機器部門 2026年3月期第3四半期実績
14. HCR機器部門 四半期別売上高推移
15. 四半期別海外地域別売上高推移
16. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況

2026年3月期 業績予想

17. 2026年3月期 全社計画
18. 2026年3月期 セグメント計画
19. 2026年3月期 サブセグメント(事業別)計画
20. 配当政策 1株当たり配当金
21. 配当政策 配当性向と純資産配当率
22. 資本政策の実践:自己株式の取得
23. 資本政策の実践:株式分割

参考資料

24. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
25. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
26. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(アジア他)
27. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(北米)
28. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(欧州)
29. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(国内)
30. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
31. 鉄筋結束機事業ラインアップ
32. 国内・海外機工品事業 製品内訳
33. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2026年3月期第3四半期 決算サマリ

- ・ 第3四半期累計として売上高、各利益ともに過去最高を更新。
- ・ 鉄筋結束機を含むコンクリート構造物向け工具の売上高は319億円(前年比+20%)年間計画360億円に対する進捗率は89%と好調に推移。
- ・ 2026年3月期通期の業績は、売上高、各利益ともに過去最高を更新見込み。各利益、ROEは、中期経営計画最終年度である2027年3月期計画を1期前倒しで達成できる水準。
- ・ 2026年4月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき4株の割合とする株式分割を実施。

2026年3月期第3四半期 全社実績

2026年3月期第3四半期 全社実績

■為替レート

当期	1ドル 148.53円	/	1ユーロ 170.44円
前期	1ドル 152.32円	/	1ユーロ 164.94円
計画	1ドル 145.80円	/	1ユーロ 166.07円

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	進捗率
売上高	74,323	69,010	+7.7	97,700	76.1
売上総利益	36,799	33,264	+10.6	—	—
同率	49.5	48.2		—	
営業利益	13,770	11,477	+20.0	17,200	80.1
同率	18.5	16.6		17.6	
経常利益	14,507	12,145	+19.5	17,500	82.9
同率	19.5	17.6		17.9	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,902	9,109	+19.7	13,200	82.6
同率	14.7	13.2		13.5	
一株当たり四半期純利益	239.58	195.80	—	290.90	—

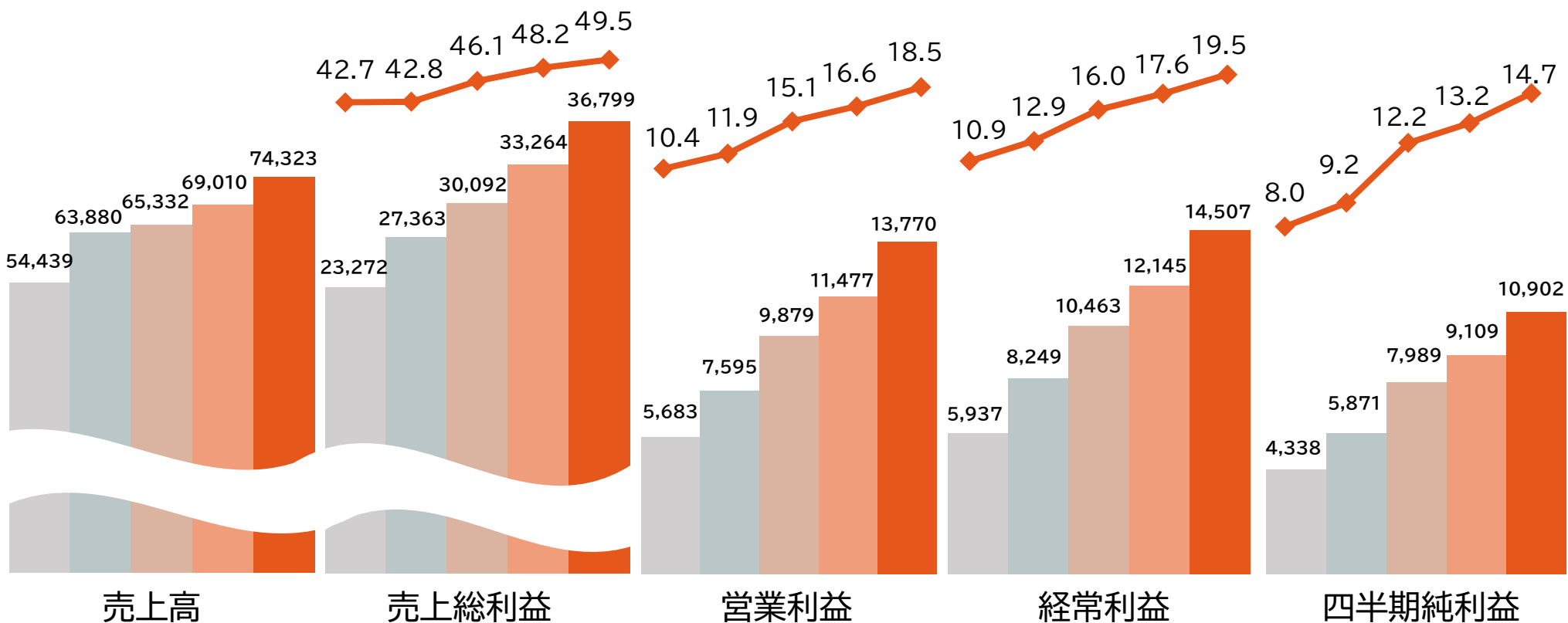
※2025年10月31日発表計画

2022～26年3月期第3四半期 全社実績推移

2

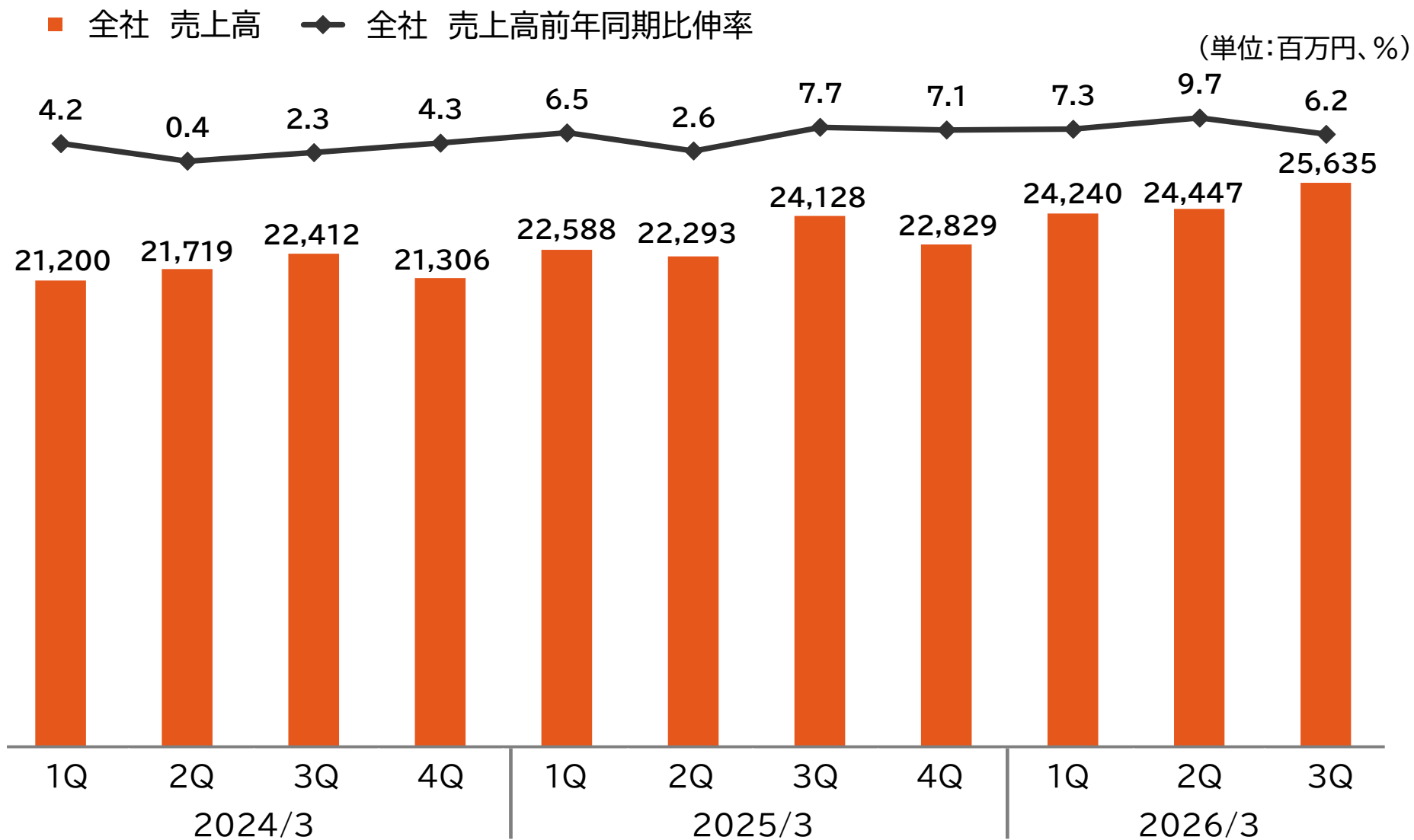
■ 2022年3月期3Q ■ 2023年3月期3Q ■ 2024年3月期3Q
 ■ 2025年3月期3Q ■ 2026年3月期3Q — 同率

(単位:百万円、%)

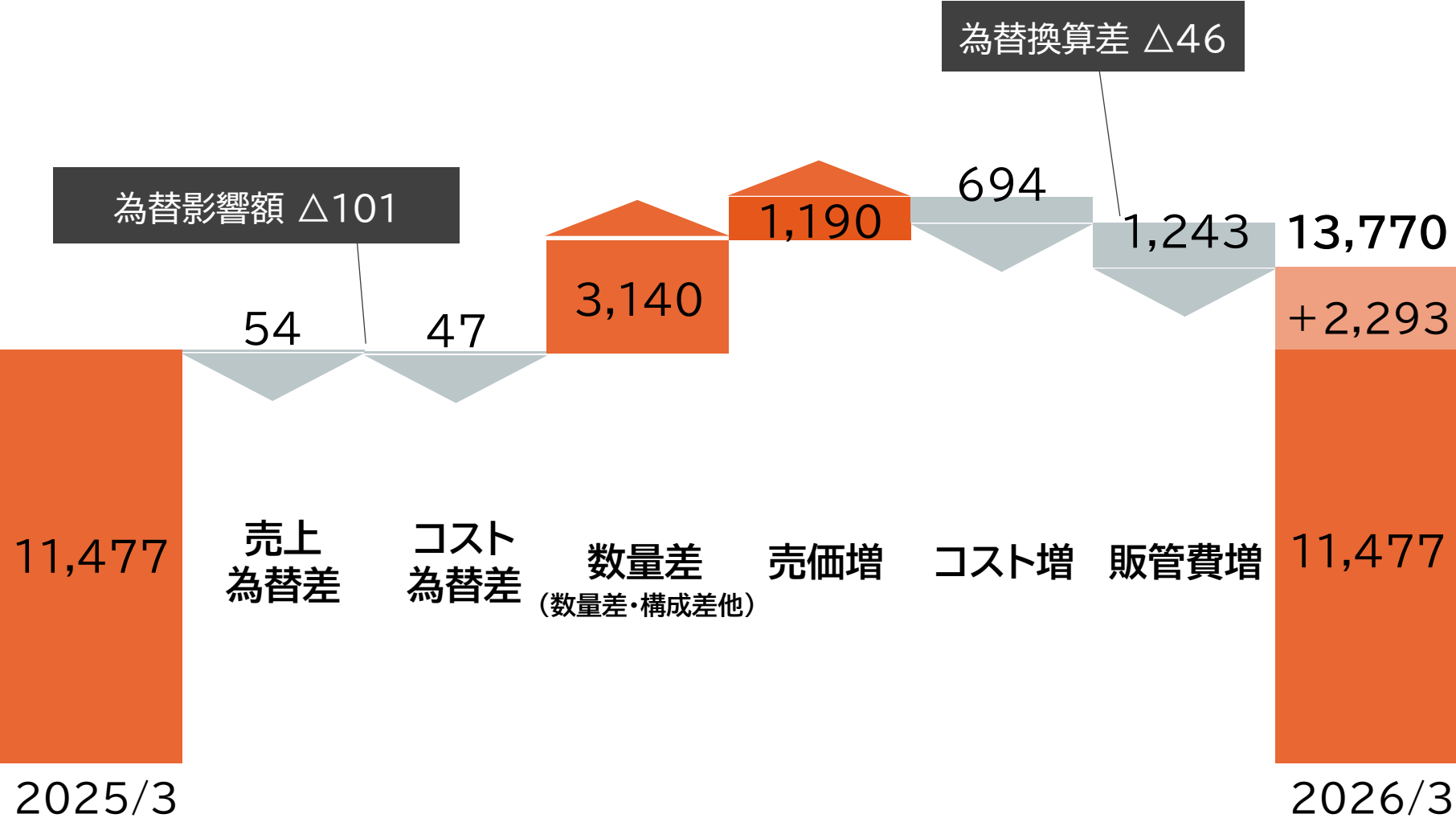


四半期別売上高推移

3



(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	当期実績	前期実績	前年差
営業外収支	736	667	+69
営業外収益(為替除き)	698	606	+91
営業外費用(為替除き)	△53	△51	△1
為替差額	91	112	△20
特別損益	158	473	△314
特別利益	202※	497	△294
特別損失	△44	△24	△20

※主に株式の売却益

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	当期年間計画	進捗率
設備投資	2,253	1,903	4,053	55.6
減価償却費	2,526	2,467	3,782	66.8
研究開発費	3,487	3,315	4,253	82.0

国内

インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数が引き続き減少傾向で、民間非居住建築物の着工床面積も低迷しました。

海外

米国は、住宅価格やローン金利の高止まりを背景に住宅着工が低調に推移した一方で、インフラを中心とする非住宅市場に対する建設投資は堅調に推移しました。
欧州は、景気の持ち直しの動きが継続し、ドイツなどにおけるインフラ投資の活発化など、建設市況でも改善の動きが見られました。

■ 参考指標

新設住宅着工戸数

・2025年1月～9月は前年同期比 $\Delta 8.0\%$
(持家 $\Delta 8.1\%$ 、賃貸 $\Delta 6.1\%$ 、分譲 $\Delta 10.8\%$)

→機工品事業(木造系)にマイナス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

・2024年10月～2025年6月は前年比 $\Delta 6.4\%$
(事務所 $\Delta 30.5\%$ 、店舗 $\Delta 2.3\%$ 、工場 $\Delta 14.6\%$ 、倉庫 $+6.5\%$)

・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は、過剰傾向

→機工品事業(コンクリート系)にマイナス影響

為替

・1ドル148.53円、1ユーロ170.44円
(前年:1ドル152.32円、1ユーロ164.94円)

・売上為替感応度(年間換算)(※2026年3月期 期首計画値)
米ドル200百万円、ユーロ80百万円

・営業利益為替感応度(年間換算)(※2026年3月期 期首計画値)
米ドル60百万円、ユーロ80百万円

米国の新設住宅着工戸数

・2025年10月の年率換算値は124.6万戸、11月 未発表、
12月 未発表
(前年10月: 135.2万戸、11月: 129.5万戸、12月: 151.4万戸)

2026年3月期第3四半期 セグメント実績

2026年3月期第3四半期 セグメント実績

7

(単位:百万円、%)

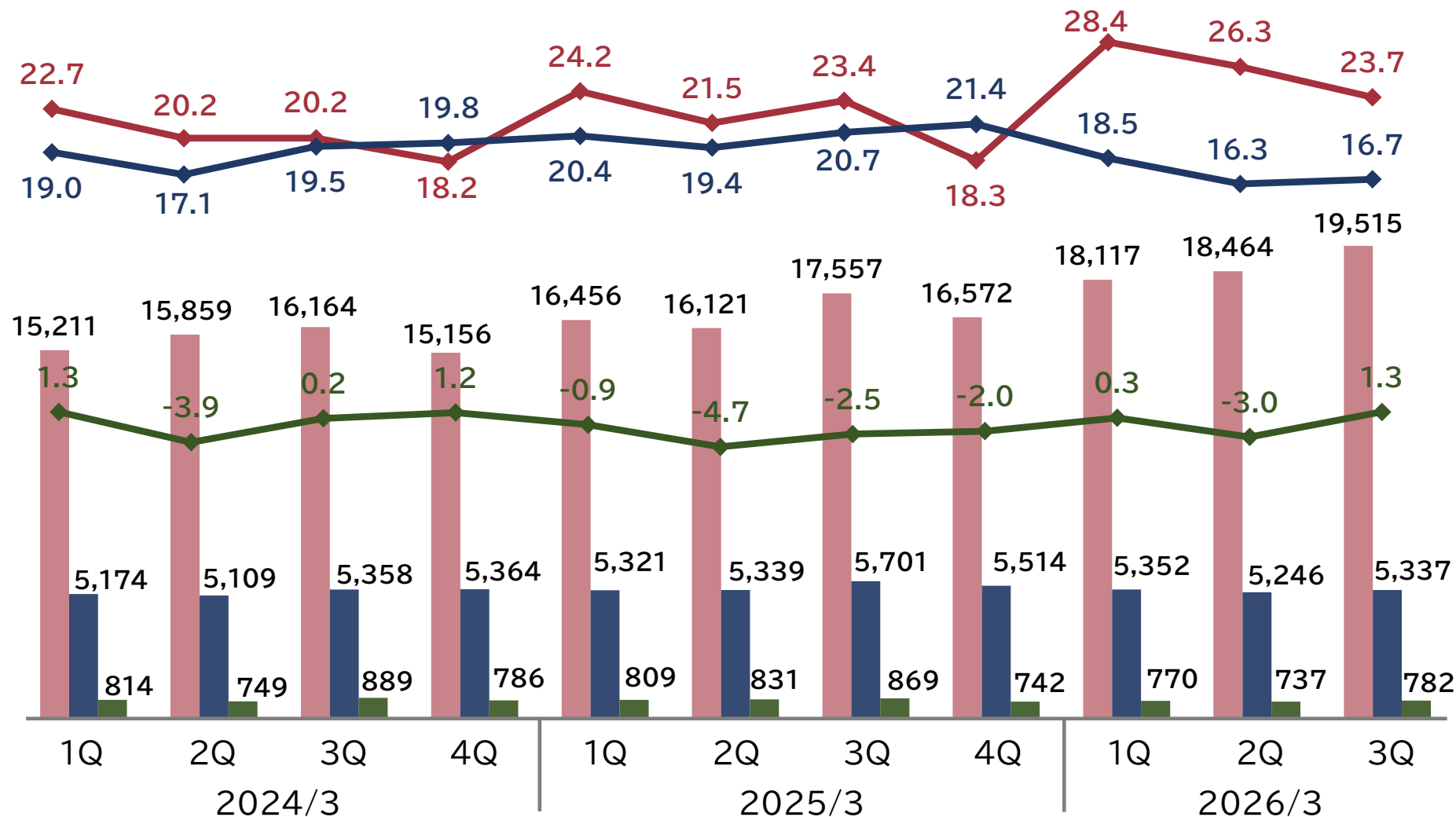
	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	進捗率
インダストリアル機器部門					
売上高	56,097	50,134	+11.9	73,090	76.8
セグメント利益	14,621	11,563	+26.4	18,170	80.5
セグメント利益率	26.1	23.1		24.9	
オフィス機器部門					
売上高	15,936	16,363	△2.6	21,500	74.1
セグメント利益	2,735	3,297	△17.1	3,820	71.6
セグメント利益率	17.2	20.2		17.8	
HCR機器部門					
売上高	2,290	2,511	△8.8	3,110	73.6
セグメント利益	△9	△67	—	10	—
セグメント利益率	△0.4	△2.7		0.3	
調整額	△3,575	△3,316	—	△4,800	—
全社計					
売上高	74,323	69,010	+7.7	97,700	76.1
営業利益	13,770	11,477	+20.0	17,200	80.1
営業利益率	18.5	16.6		17.6	

※2025年10月31日発表計画

四半期別セグメント実績推移

8

■ インダストリアル機器部門 売上高
 ■ オフィス機器部門 売上高
 ■ HCR機器部門 売上高
— インダストリアル機器部門 セグメント利益率
 — オフィス機器部門 セグメント利益率
 — HCR機器部門 セグメント利益率
 (単位:百万円、%)

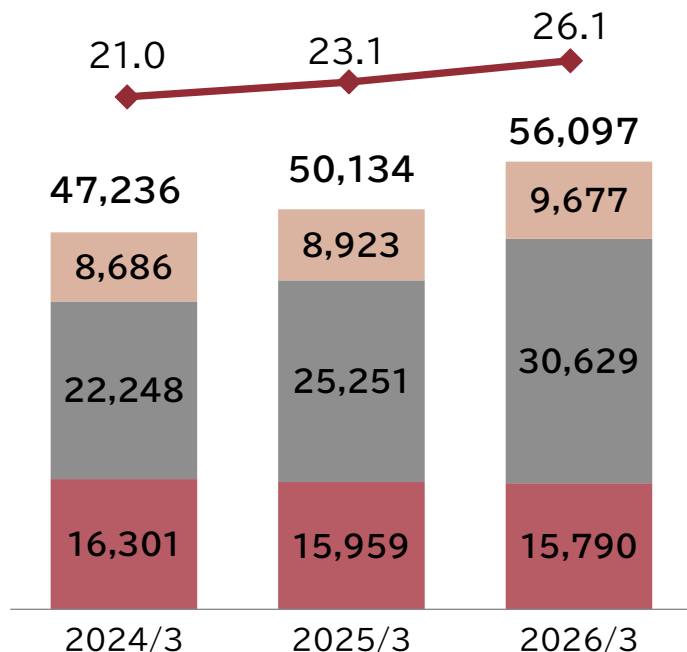


インダストリアル機器部門 2026年3月期第3四半期実績

9

■ 国内機工品事業 ■ 海外機工品事業
■ 住環境機器事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイア」
新製品



「ねじピン打機」「ねじピン」
新製品

- 国内機工品事業 ▶ 鉄筋結束機「ツインタイア」新製品の拡販により、機械とその消耗品の販売が堅調に推移しました。一方で、新設住宅着工戸数の減少などにより、木造建築物向け工具の消耗品の販売が減少しました。
- 海外機工品事業 ▶ 非住宅市場の堅調な市況や建設現場における人手不足を背景とした機械化需要の高まりなどにより、欧米で鉄筋結束機とその消耗品の販売が好調に推移しました。
- 住環境機器事業 ▶ 主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリプレイス向け(既設機の置き換え)で伸長したほか、一部OEM先向けでも堅調に推移しました。

インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移

10

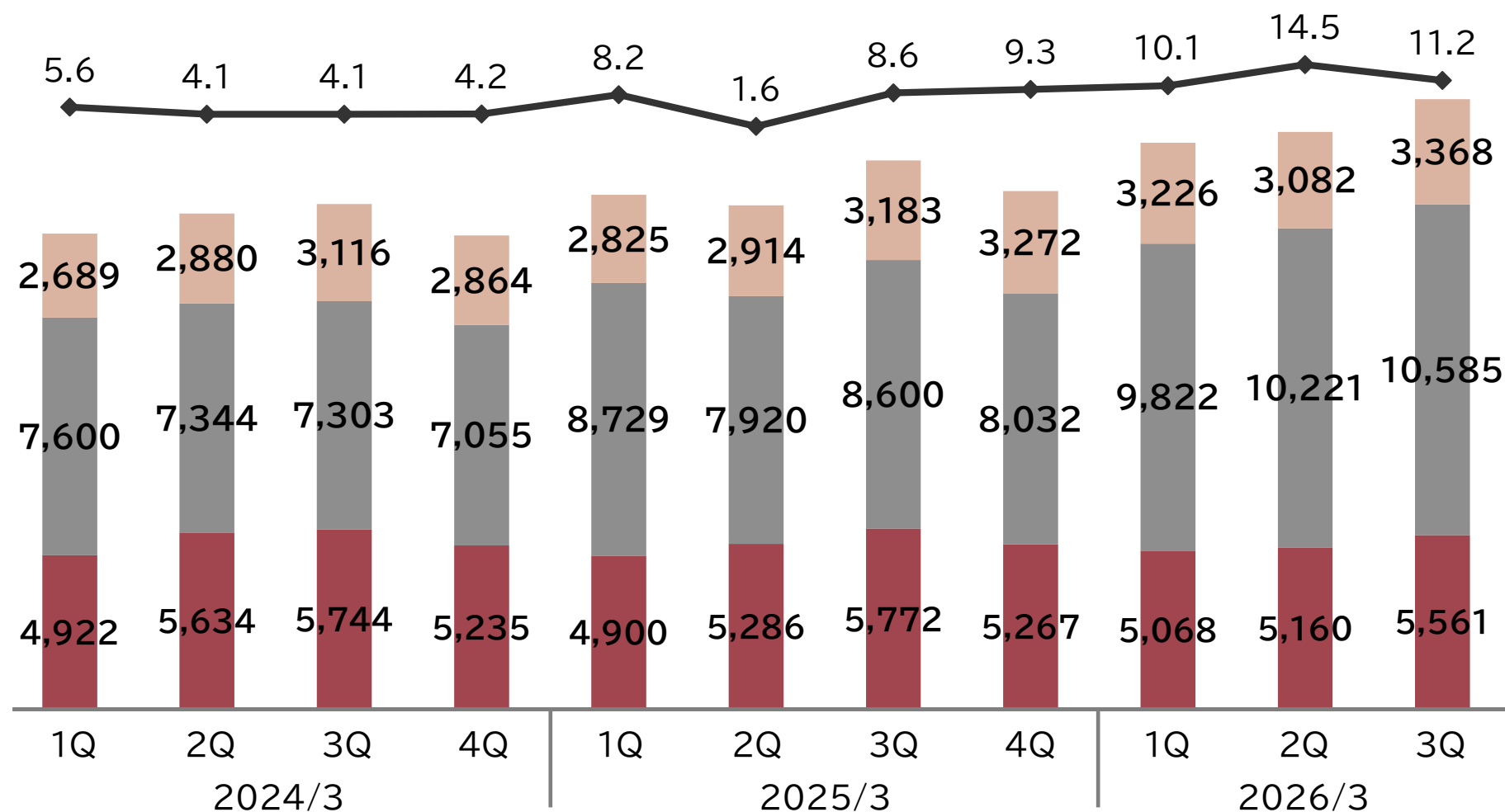
■ 国内機工品事業 売上高

■ 海外機工品事業 売上高

■ 住環境機器事業売上高

— インダストリアル機器部門 売上高前年同期比伸率

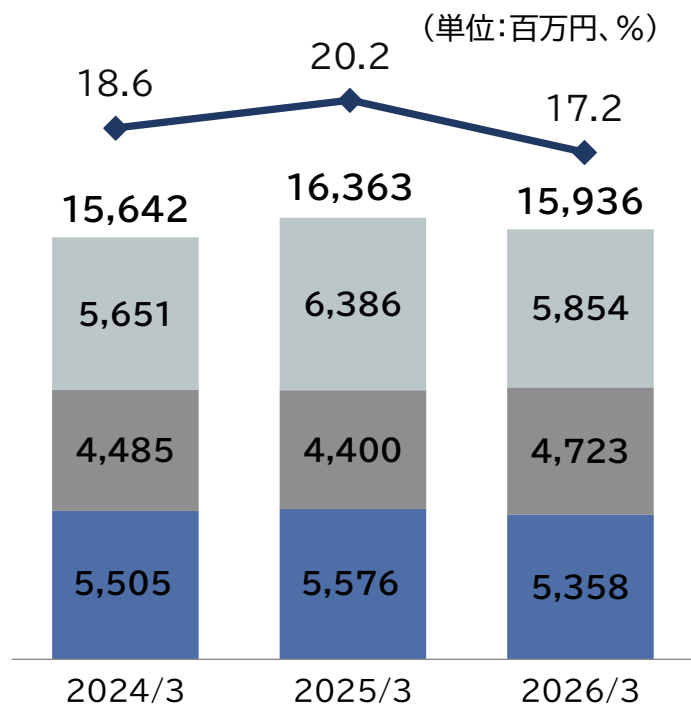
(単位:百万円、%)



オフィス機器部門 2026年3月期第3四半期実績

11

■ 国内オフィス事業 ■ 海外オフィス事業
■ オートステープラ事業 — セグメント利益率



シリコンカバーホッチキス“ねこ”
数量限定で発売



表示作成機「ビーポップ」

国内オフィス事業

- ▶ 第2四半期の表示作成機「ビーポップ」の一部部品不足は解消したものの、第3四半期に発生した取引先の出荷停止の影響などにより、文具関連製品や文字表示機器の販売が減少しました。

海外オフィス事業

- ▶ 表示作成機「ビーポップ」やチューブマーカー「レタツイン」などの文字表示機器と東南アジアを中心とする文具関連製品の販売が堅調に推移しました。

オートステープラ事業

- ▶ 取引先からの受注が引き続き低調に推移したことにより、機械と消耗品の販売が減少しました。

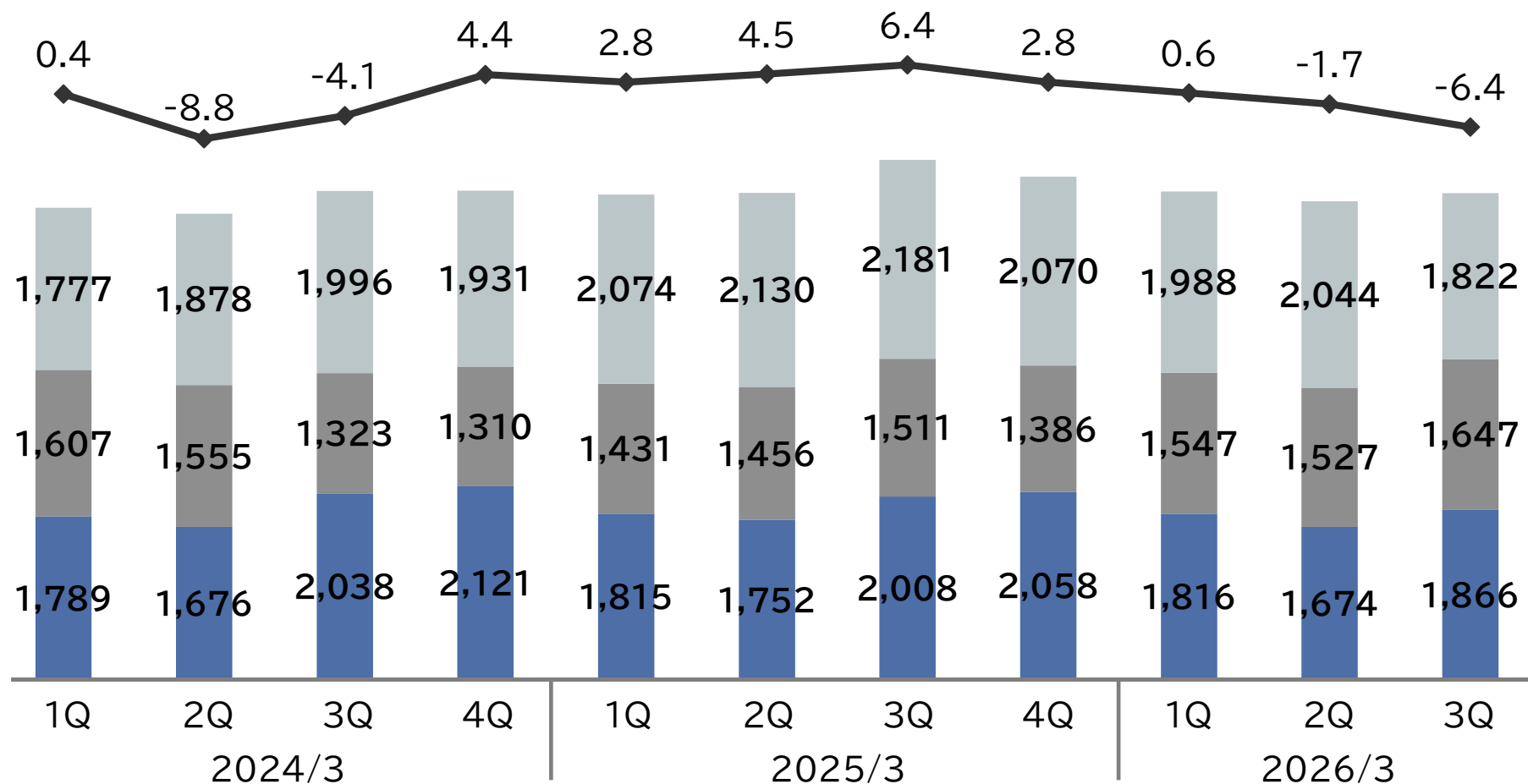
オフィス機器部門 四半期別売上高推移

12

■ 国内オフィス事業 売上高 ■ 海外オフィス事業 売上高 ■ オートステープラ事業売上高

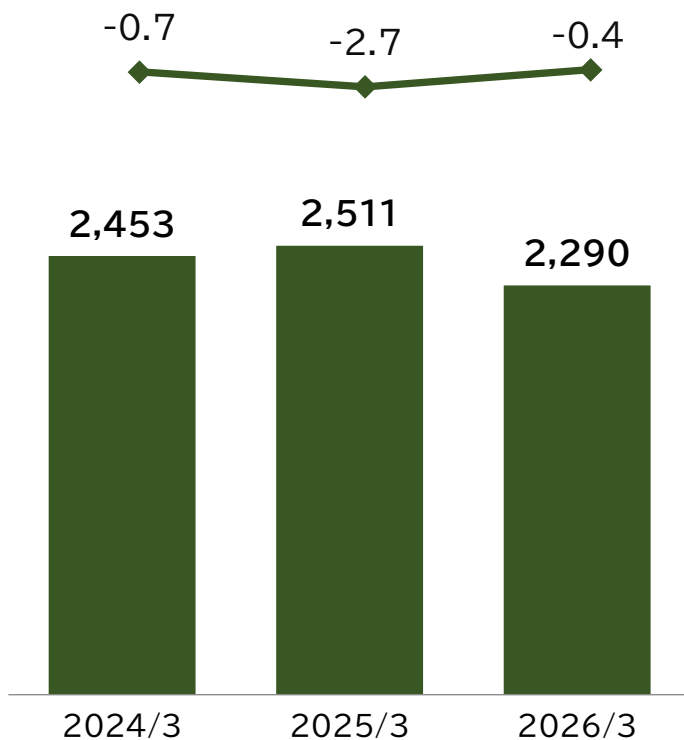
— オフィス機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



海外市場向け車いす



多機能車いす
「モダンシリーズ」

HCR機器部門



中国のレンタル市場向けの車いすの販売が減少したほか、国内においても取引先からの受注が引き続き停滞しました。一方で、収益改善の取り組みにより、第3四半期連結会計期間は黒字となりました。

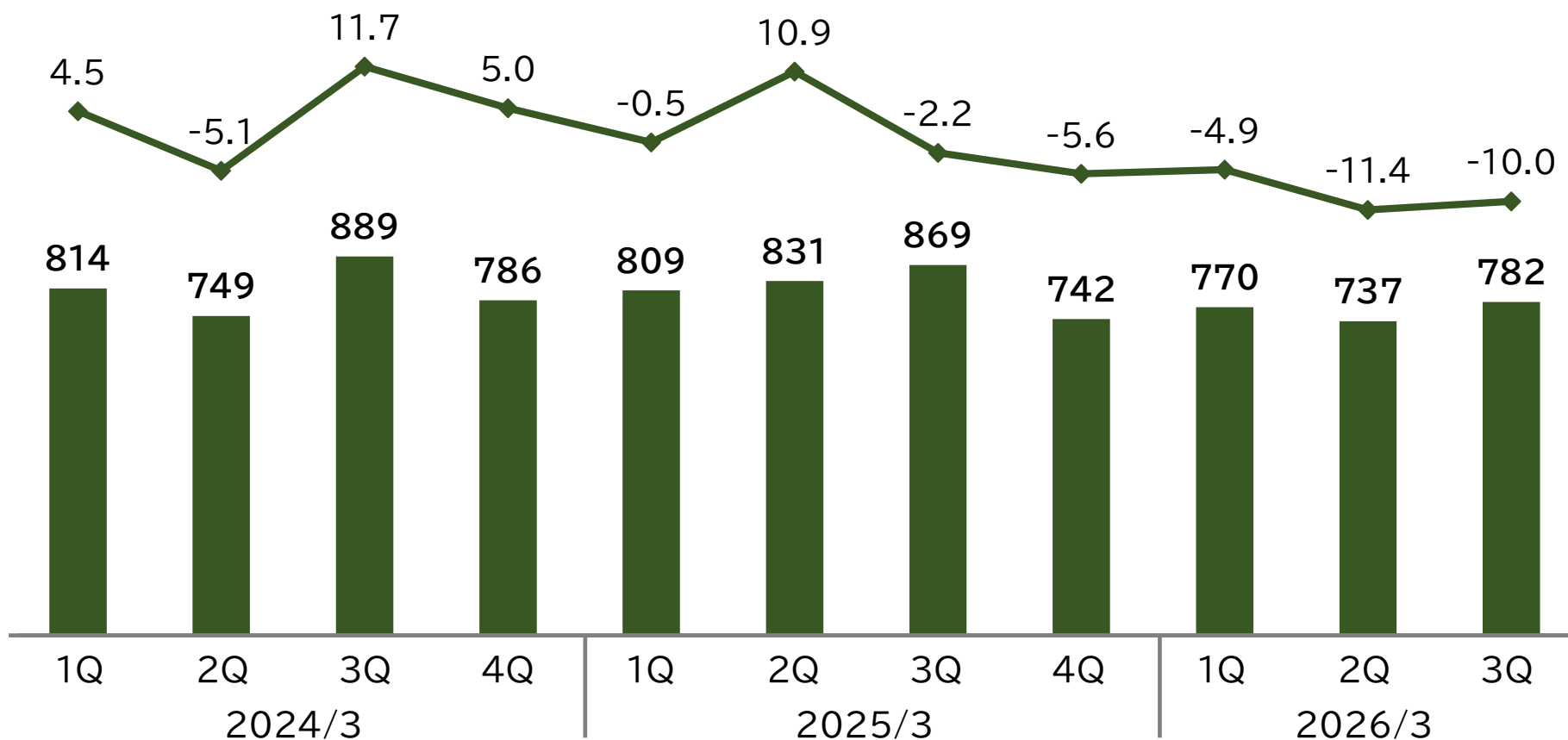
HCR機器部門 四半期別売上高推移

14

■ HCR機器部門 売上高

－ HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)

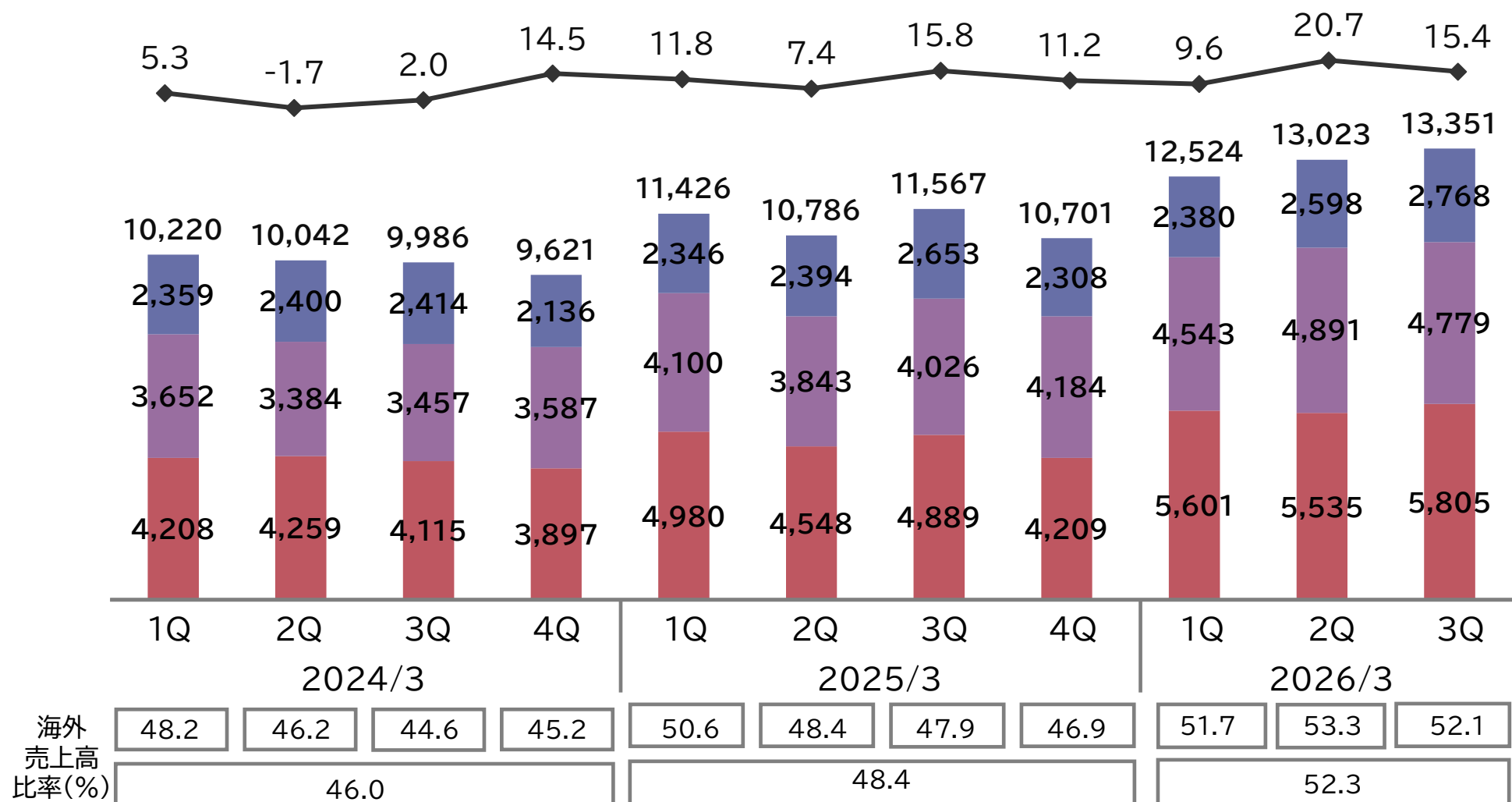


四半期別海外地域別売上高推移

15

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高
■ アジア他 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は好調に推移

・コンクリート構造物向け工具売上 **319億円** (国内48億円・海外271億円)

対前年+**20%**の伸長/年間計画に対する進捗率**89%**

建設現場における人手不足が欧米での鉄筋結束機の導入を促進

<海外>



〔北米〕

- ・未導入ユーザーへの新規導入と既存ユーザーでの買替・買増が進み、機械と消耗品の販売が好調に推移。
- ・「特大径モデル」「メッシュ筋カッタ」などの新製品を活用した新規アプリケーション、ユーザーの開拓活動を推進。

〔欧州〕



- ・主力市場であるドイツや北欧での販売が堅調に推移したほか、活動を強化している東欧などでも新規開拓が進み、機械と消耗品の販売が増加。
- ・現場の人手不足に加えて、賃金上昇やインフラプロジェクトの活性化などにより、欧州各国で引き続き実績が伸長。

<国内>



- ・コンクリート建築物の着工床面積は低調であったものの、10月に発売した「ツインタイヤ」新製品の拡販が進み、機械と消耗品の販売が堅調に推移。

2026年3月期 業績予想

■想定為替レート(4Q)

1ドル 145.00円
1ユーロ 165.00円

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2026/1/30)	前回計画 (2025/10/31)	差額	前期実績	増減率
売上高	97,700	97,700	—	91,839	+6.4
営業利益	17,200	17,200	—	14,468	+18.9
同率	17.6	17.6		15.8	
経常利益	17,500	17,500	—	14,809	+18.2
同率	17.9	17.9		16.1	
親会社株主に帰属する当期純利益	13,200	13,200	—	11,225	+17.6
同率	13.5	13.5		12.2	
1株当たり当期純利益(円)	290.96	290.90		241.81	
ROE	12.3	12.3	—	10.9	

・ 2025年10月31日に公表しました通期の連結業績予想に対し、売上高、各利益ともに変更はありませんが、足元の推移及び今後の動向等を踏まえ、セグメント別及び事業別の業績予想値を修正しております。

2026年3月期 セグメント計画

18

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2026/1/30)	前回計画 (2025/10/31)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	73,420	73,090	330	66,707	+10.1
セグメント利益	18,400	18,170	230	14,595	+26.1
セグメント利益率	25.1	24.9		21.9	
オフィス機器部門					
売上高	21,200	21,500	△300	21,878	△3.1
セグメント利益	3,600	3,820	△220	4,477	△19.6
セグメント利益率	17.0	17.8		20.5	
HCR機器部門					
売上高	3,080	3,110	△30	3,253	△5.3
セグメント利益	0	10	△10	△82	—
セグメント利益率	0.0	0.3		△2.5	
調整額	△4,800	△4,800	—	△4,522	—
全社計					
売上高	97,700	97,700	—	91,839	+6.4
営業利益	17,200	17,200	—	14,468	+18.9
売上高営業利益率	17.6	17.6		15.8	

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2026/1/30)	前回計画 (2025/10/31)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
セグメント売上高	73,420	73,090	330	66,707	+10.1
国内機工品	21,200	21,510	△310	21,227	△0.1
海外機工品	39,300	38,840	460	33,284	+18.1
住環境機器	12,920	12,740	180	12,195	+5.9
セグメント利益	18,400	18,170	230	14,595	+26.1
セグメント利益率	25.1	24.9		21.9	

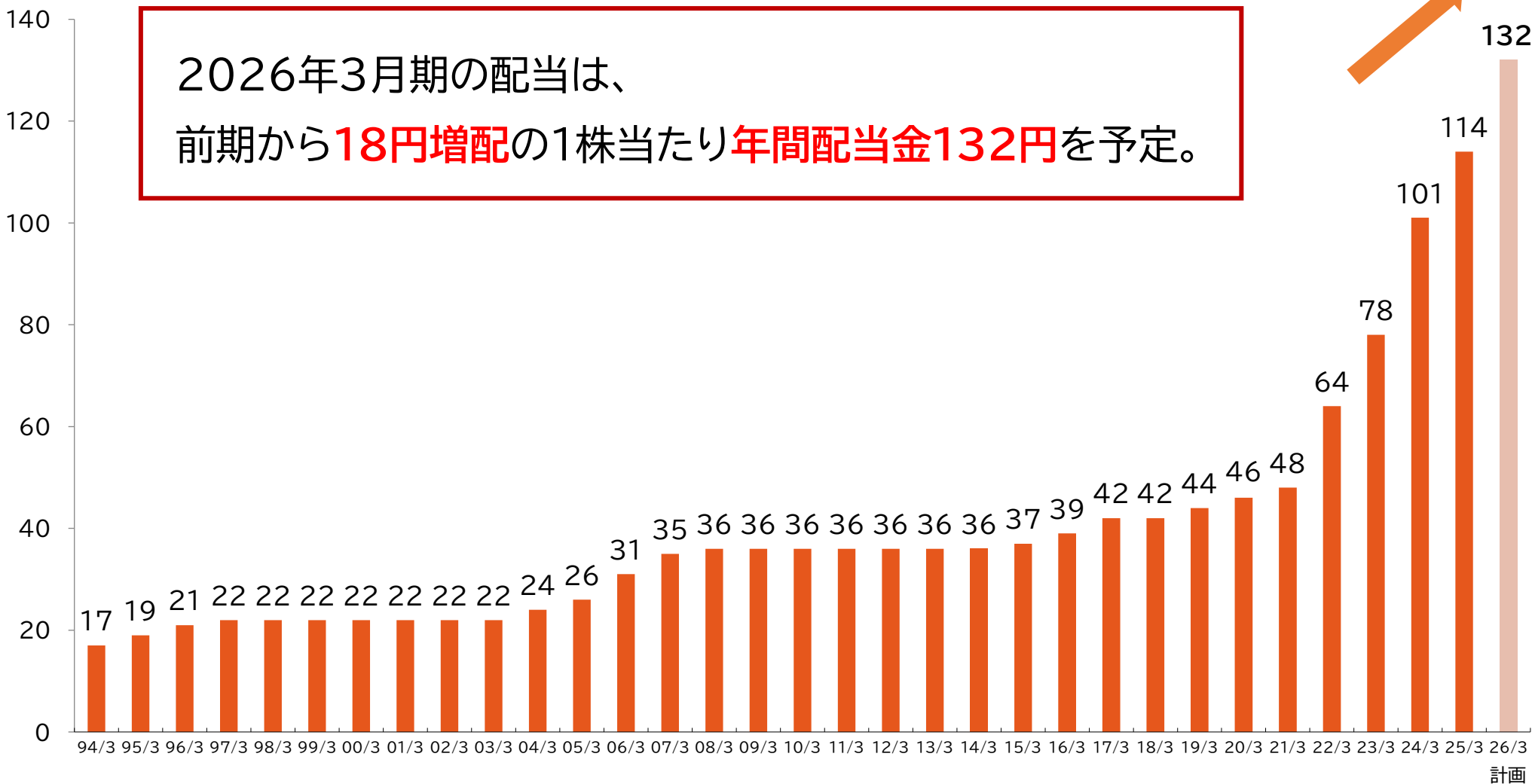
	今回計画 (2026/1/30)	前回計画 (2025/10/31)	差額	前期実績	増減率
オフィス機器部門					
セグメント売上高	21,200	21,500	△300	21,878	△3.1
国内オフィス	7,460	7,650	△190	7,634	△2.3
海外オフィス	6,140	6,080	60	5,786	+6.1
オートステープラ	7,600	7,770	△170	8,456	△10.1
セグメント利益	3,600	3,820	△220	4,477	△19.6
セグメント利益率	17.0	17.8		20.5	

配当政策 1株当たり配当金

20

(単位:円)

2026年3月期の配当は、
前期から**18円増配**の1株当たり**年間配当金132円**を予定。



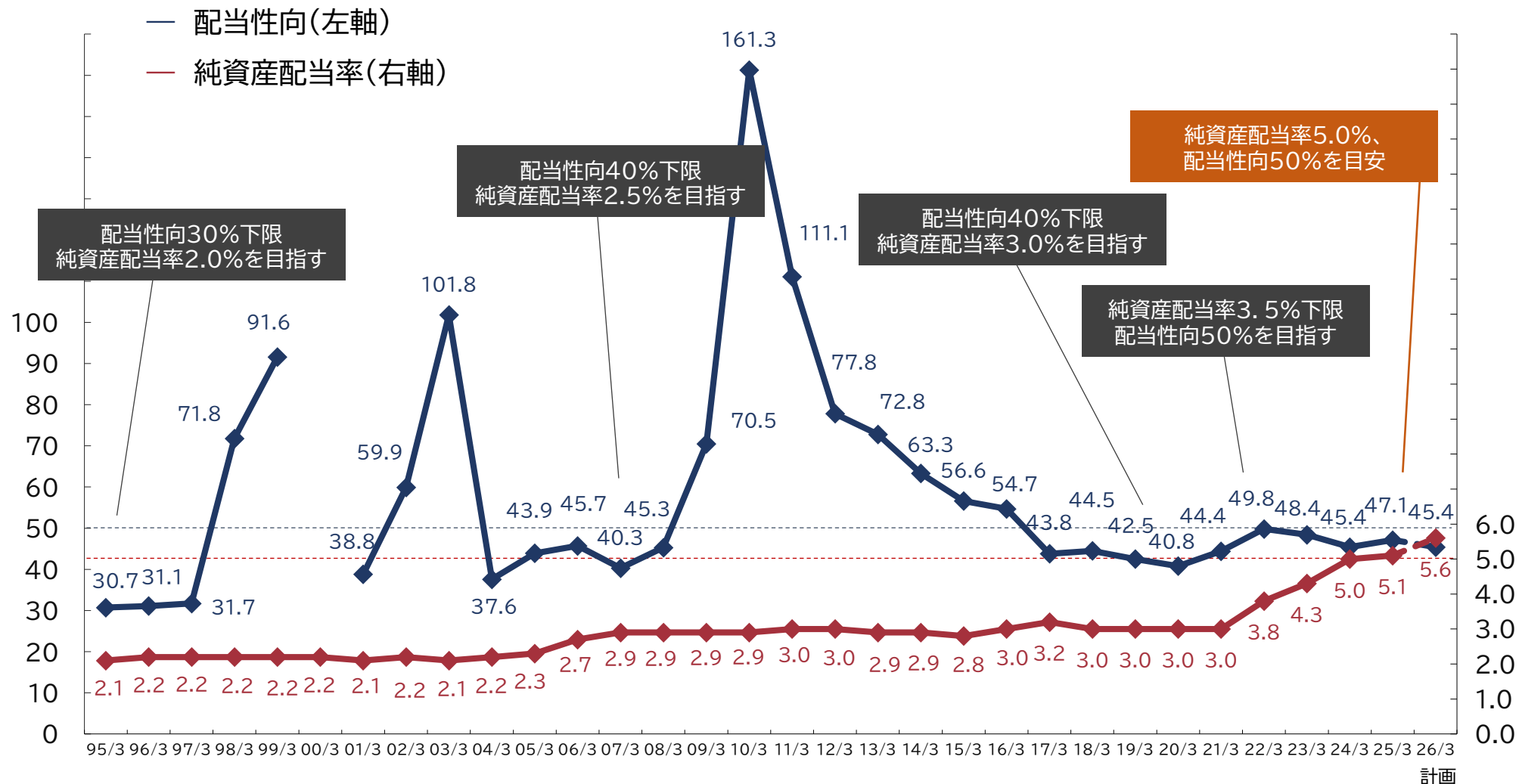
計画

配当政策 配当性向と純資産配当率

21

連結決算を基準に、「純資産配当率5.0%、配当性向50%を目安とする」

(単位:%)



※2005年3月期までは単独ベースです。

自己株式の取得実績〔2026年3月期〕

取得理由	：株主還元の充実及び資本効率の向上
取得した株式の種類	：当社普通株式
取得した株式の総数	：996,300株
株式の取得価額の総額	：5,499,897,000円
取得期間	：2025年8月1日～2025年11月18日
取得方法	：東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNET-3)を含む市場買付

中期経営計画(2025～2027年3月期)期間における資本政策の実践状況

2024年11月	：株式の売出し(1,437,200株 オーバーアロットメントによる売出し含む)
2024年12月	：自己株式の消却(1,000,000株)
2025年1月～4月	：自己株式の取得(589,100株、約24億円)

<株式分割の実施>

基準日 : 2026年3月31日

効力発生日 : 2026年4月1日

分割割合 : 普通株式1株につき4株

目的 : 当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整えることで、株式の流動性を高めるとともに、投資家層のさらなる拡大を図ってまいります。

分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数 : 46,537,426株

今回の分割により増加する株式数 : 139,612,278株

株式分割後の発行済株式総数 : 186,149,704株

株式分割後の発行可能株式総数 : 583,932,000株

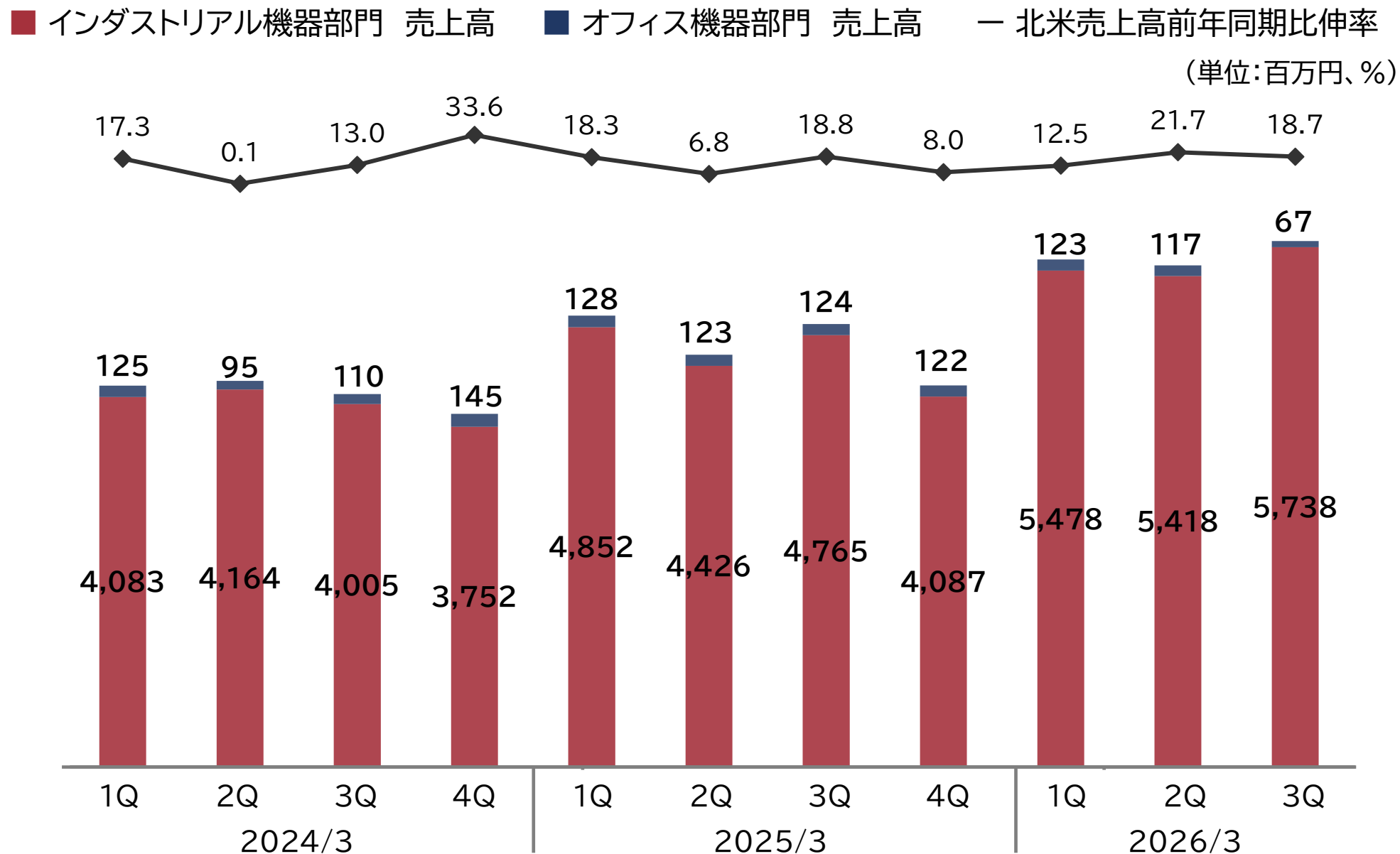
2026年3月期の期末配当について

今回の株式分割は、2026年4月1日を効力発生日としています。
2026年3月31日を基準日とする2026年3月期の期末配当につきましては、株式分割前の普通株式数を基準に実施いたします。

參考資料

四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

24

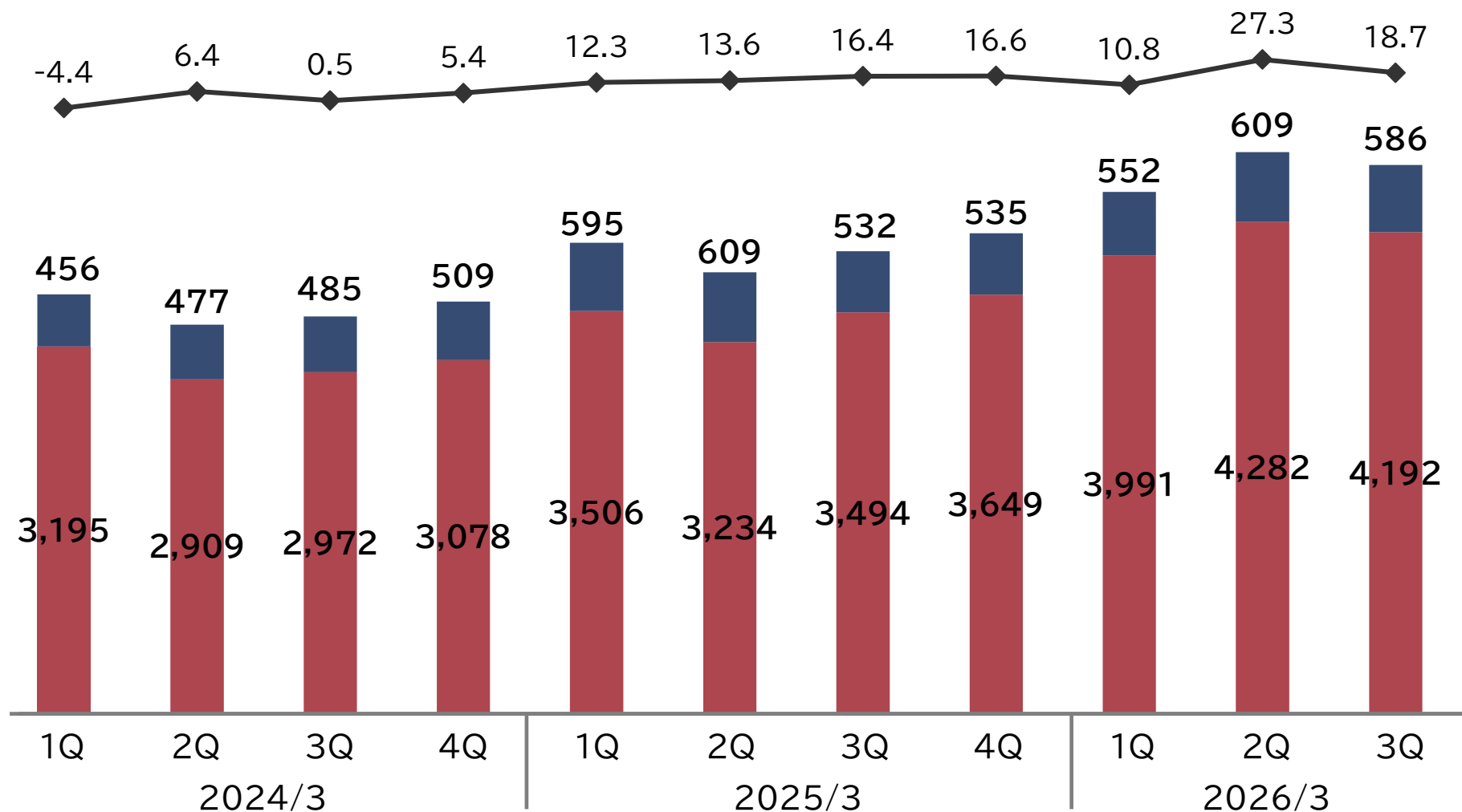


四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

25

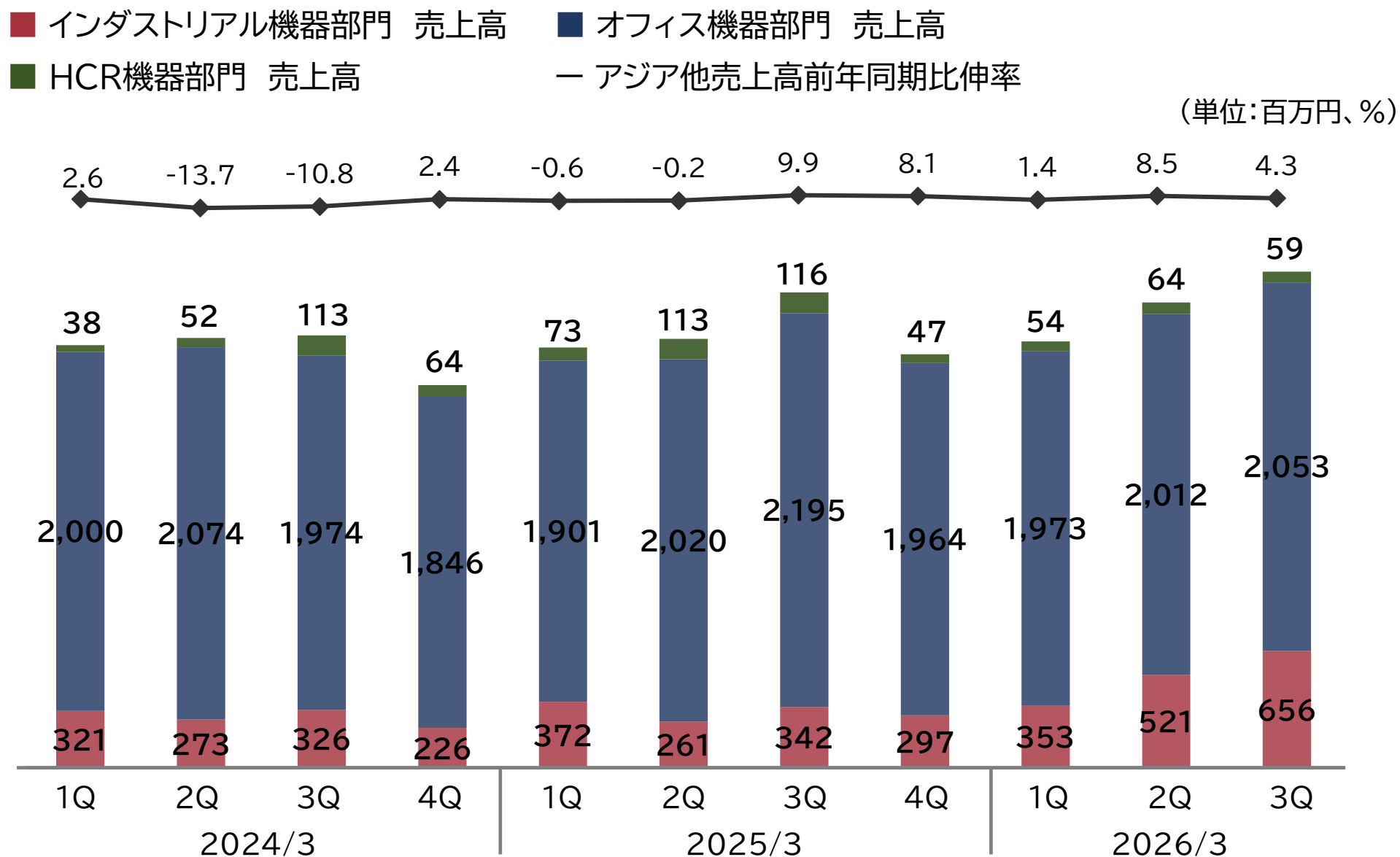
■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(アジア他)

26

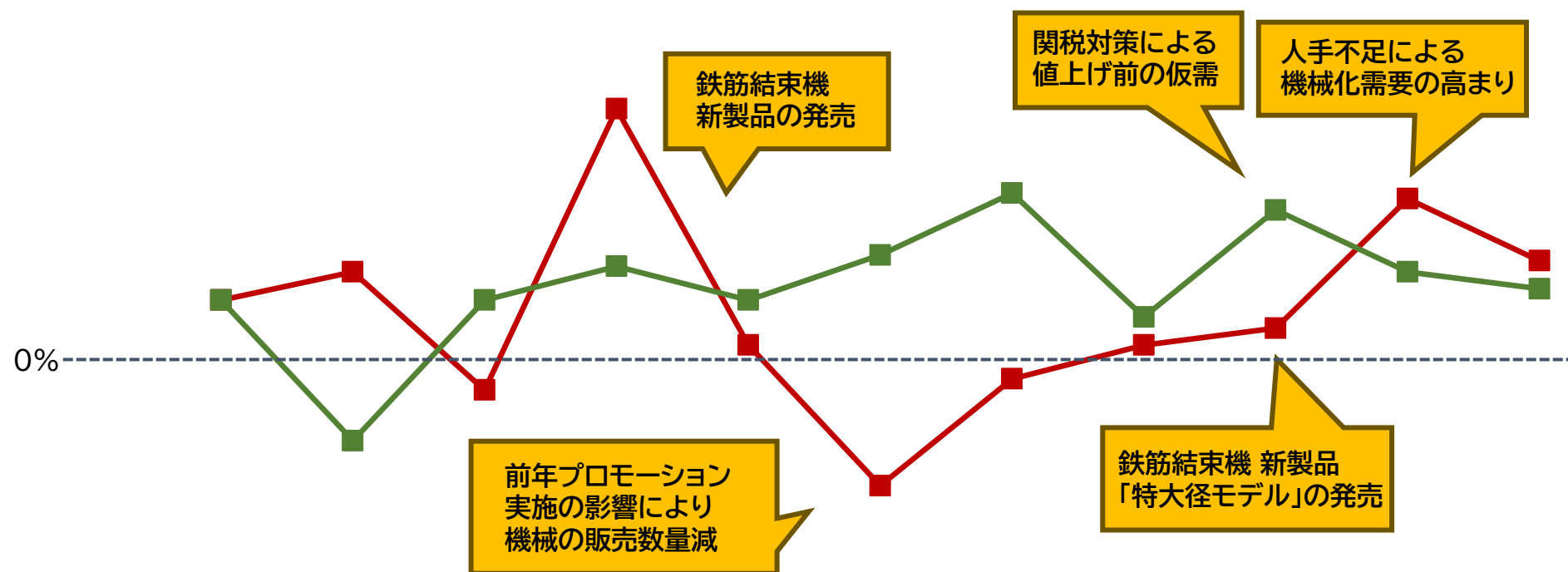


鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(北米)

27

■ 機械 数量前年同期比伸率

■ 消耗品 数量前年同期比伸率



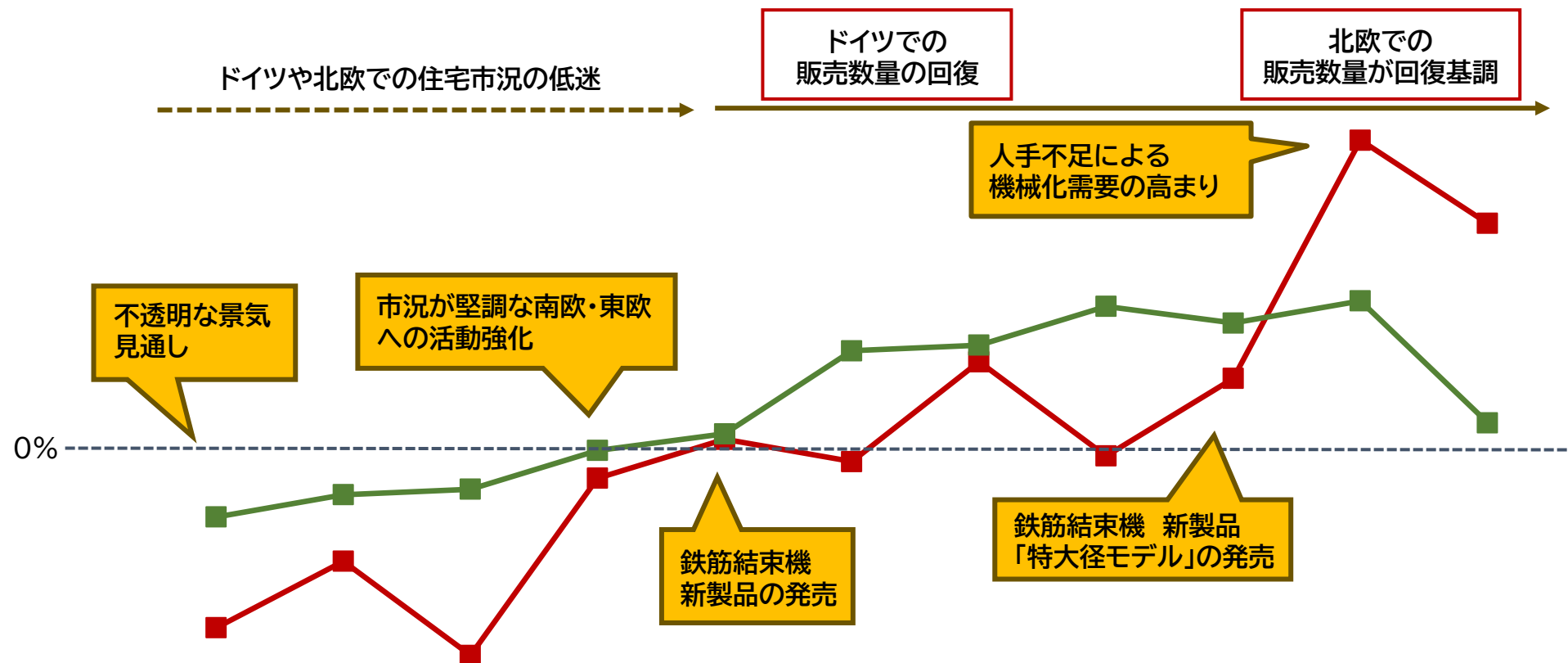
北米	2024/3				2025/3				2026/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
機械	11%	16%	-5%	45%	3%	-22%	-3%	3%	6%	29%	18%
消耗品	11%	-14%	11%	17%	11%	19%	30%	8%	27%	16%	13%

鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(欧州)

28

■ 機械 数量前年同期比伸率

■ 消耗品 数量前年同期比伸率



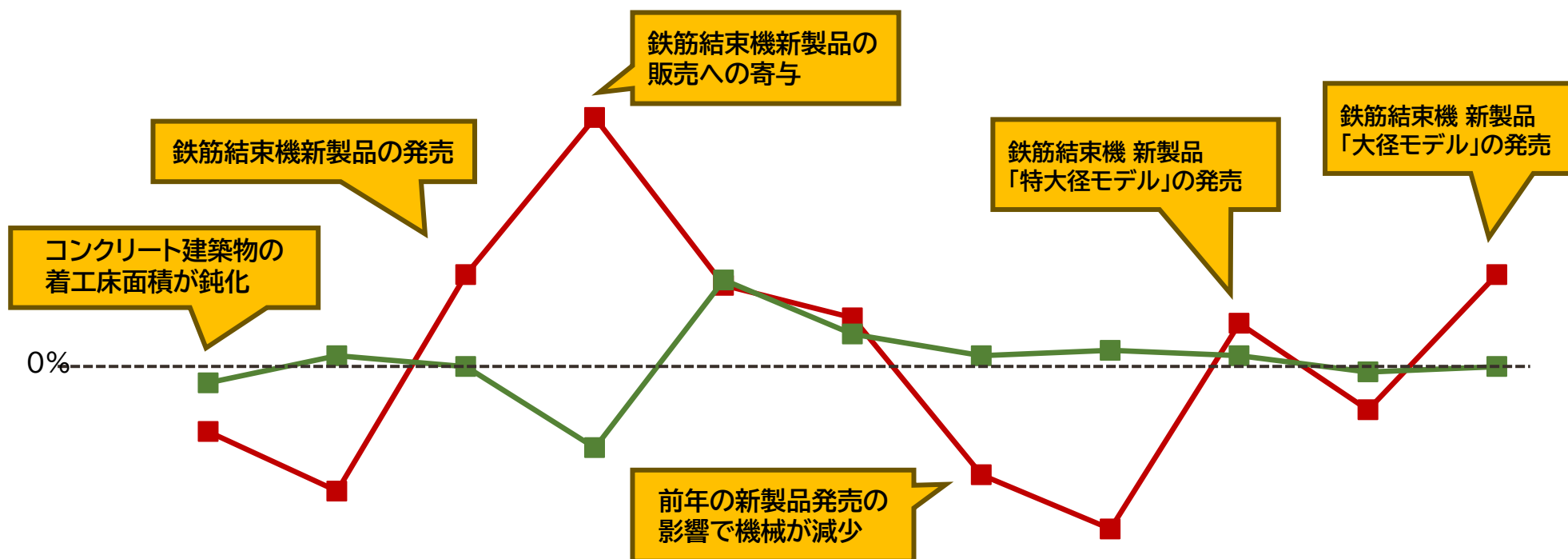
欧州	2024/3				2025/3				2026/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
機械	-32%	-20%	-37%	-5%	2%	-2%	16%	-1%	13%	56%	41%
消耗品	-12%	-8%	-7%	0%	3%	18%	19%	26%	23%	27%	5%

鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(国内)

29

■ 機械 数量前年同期比伸率

■ 消耗品 数量前年同期比伸率



国内	2024/3				2025/3				2026/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
機械	-12%	-23%	17%	46%	15%	9%	-20%	-30%	8%	-8%	17%
消耗品	-3%	2%	0%	-15%	16%	6%	2%	3%	2%	-1%	0%

機工品事業

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインティア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



オフィス事業

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

タイムレコーダ



筆耕



充電式鉄筋結束機「ツインティア」シリーズ

〈機械〉※国内での発売年を記載しています。



スタンダードモデル
2023年発売
(フルモデルチェンジ)



大径モデル
2025年発売
(フルモデルチェンジ)



特大径モデル
2025年発売



IoTモデル
2024年発売



ウォーカーモデル
2020年発売

小 ————— 大
対象鉄筋径

・GPS機能搭載

・腰への負担軽減

〈消耗品〉



専用結束ワイヤ「タイワイヤ」

〈生産拠点〉

機械

国内・海外向け共に玉村工場(群馬県)

消耗品

国内向け 藤岡工場(群馬県)

海外向け タイ工場

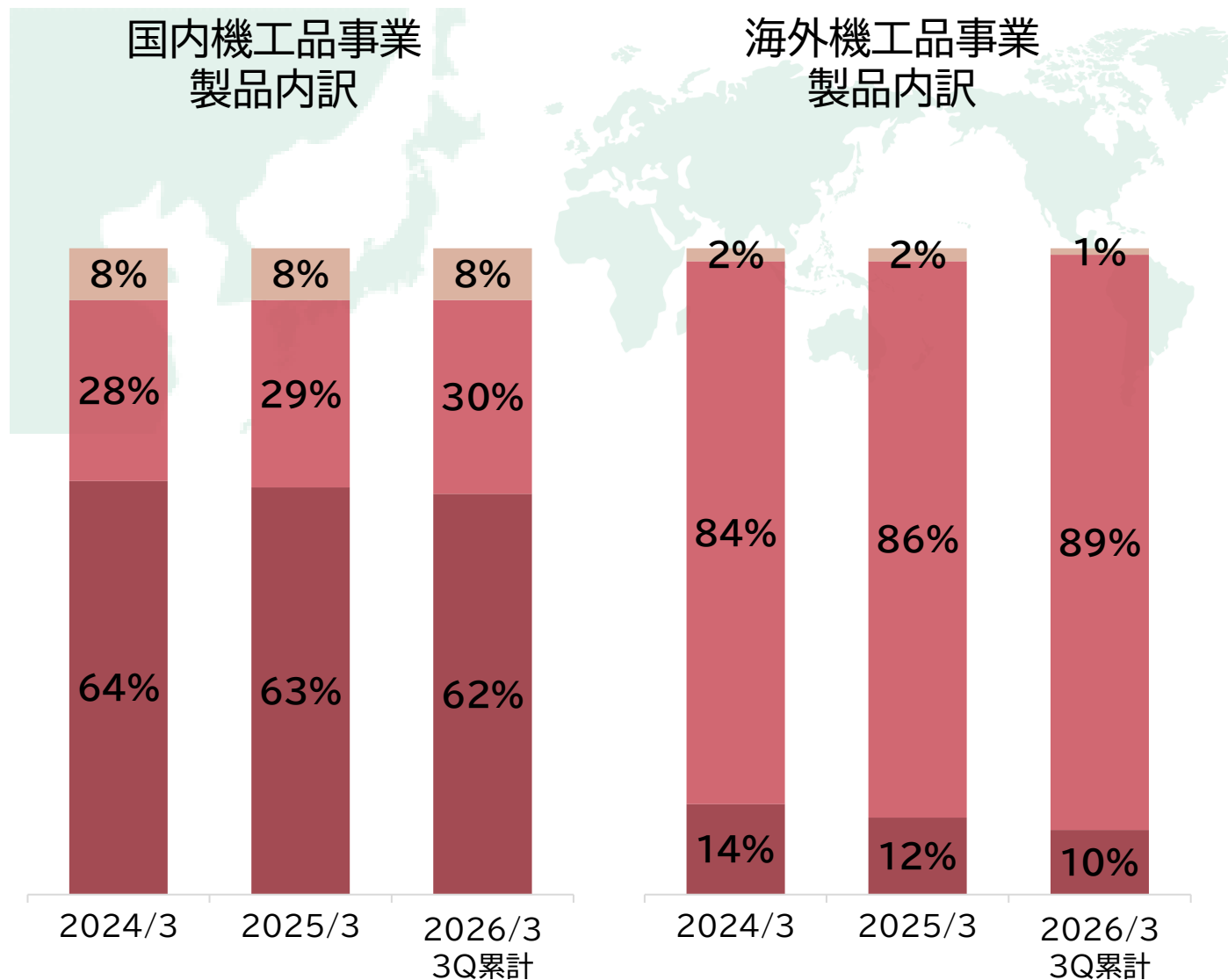
関連製品



メッシュ筋カッタ
2025年発売

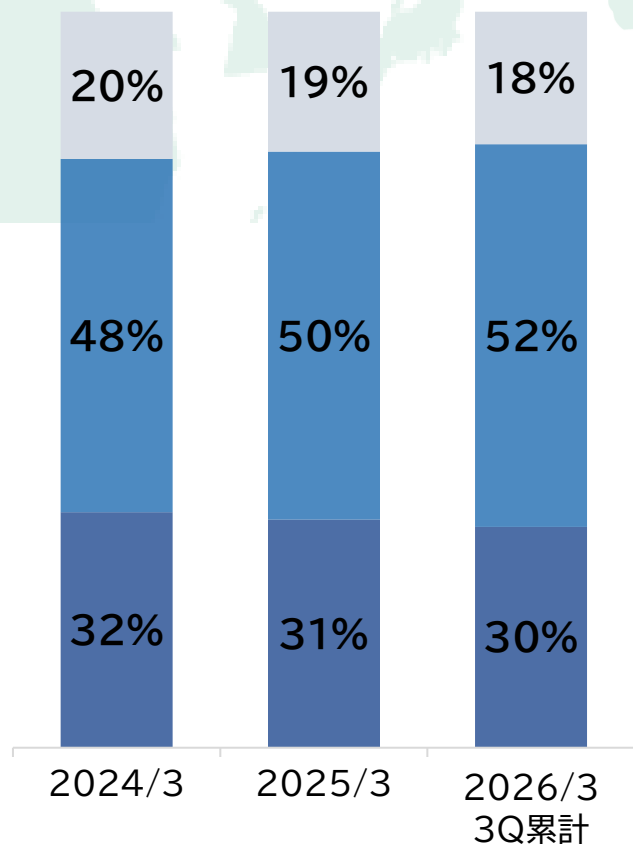
国内・海外機工品事業製品内訳

32

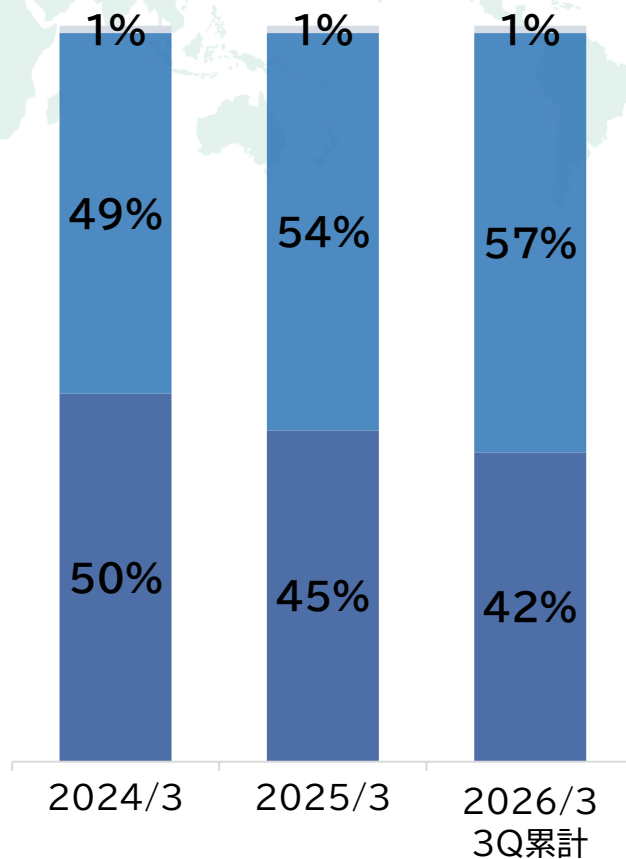


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業
製品内訳



海外オフィス事業
製品内訳



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品



本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。あらかじめご承知おきください。